

## 第5回日田市中小企業振興推進会議委員発言記録（概要）

日 時：令和元年12月12日（木）15：00～

場 所：日田市役所4階 庁議室

（委員長）＊挨拶

- ・推進会議は2カ月に1回程度で開催され、専門部会は、ほぼ毎月協議してきた。
- ・今日は、市長への提言案を協議し、最後に、中小企業振興計画（案）を協議したい。

### 【議題1 専門部会の開催概要について】

（事務局）

- ・アンテナショップのKPIの状況や動向は、今後専門部会も見ていきたい。
- ・市長への政策提言は、全ての項目を市長にお伝えて欲しい。
- ・雨天対応型のイベント場のハード整備は、産業振興センターの2階等を活用できる。
- ・はじめて箱は、民間のほうに制作等を任せるのがよい。
- ・創業支援策は、提言本文の中に入れるべき。事業承継の話も。
- ・必要な施策は、きっちり会議としては受けとめ、来年できなくとも翌年度に考えていく。
- ・来年度は、日田信用金庫の方を専門部会に加え議論していきたい。

（副部長）

- ・センター長は売上を達成するために一生懸命仕事されてるが、プレーヤーになってしまってるという問題があるようだ。
- ・夢や将来像とか、それが説明ではなかなか見えてこなかった。
- ・理事長が市長なので、目標とか未来像とかを一緒に話し合っていないといけない、というふうな感想。

（委員長）

- ・提言は、できるだけ大きくまとめてぼんぼんと出したほうが訴える力は強い。その中に入らないものについては、箇条書きする格好になっていると思う。
- ・ハード整備は厳しいと思うが、既存の施設を有効活用していくと実現性が高くなる。
- ・専門部会を設置して若い方の具体的な意見がたくさん出るようになった。推進会議自体も、随分若返って御意見をいただいている。しっかり上につながるようにしたい。

### 【議題2 市長への提言（案）について】

（事務局）

- ・専門部会とこの推進会議で検討を重ね、特に二つの大きな項目として、地域ブランディングの確立と、創業の促進強化について提言をすることした。

- ・地域ブランディングの確立は、日田の物づくり職人による仕事の見せる化、工場見学を進めることが職場環境の改善と雇用の確保につながり、製品の農高付加価値化が図られる。また、市内の中学校が一斉に工場見学を行う日、いわゆる中体連みたいな感じで、地元企業を知っていただくということが結果的にはキャリア教育の充実もなること。
- ・2項目は創業の促進強化。日田市内でも廃業事業所数が毎年あり、創業の促進強化は、働く場の創出のみならず、地域の活力創造に必要な原動力であるため、まず創業者を応援する制度という位置づけ。創業補助金の創設や創業した後のフォロー、また創業した方と、地元企業との協業など創業にフォーカスした、総合的な施策が必要。
- ・また、事業承継、こちらも課題感があるので、検討を行っていただくよう提言する。
- ・この2項目以外にも、委員や専門部会から出された意見は、次のページに提言書としてまとめている。具体的には、コンセプトとして地域ブランディングや、子育てと仕事の両立支援が必要、また機能として仕事に関する働く情報をワンストップ化できるような場所が2点目、3つ目はハード整備で、雨天対応型のイベント広場、4つ目は専門部会のような、異業種、異なる年齢等の集まりの市の施策を考える会。5つ目は市の組織として、商工労政課というのはなかなかイメージがつかないので、中小企業応援するような部署の名前が必要、6つ目は中小企業振興条例の普及啓発、また奨学金の返済支援制度、工場見学の中体連、農産加工品の新商品開発支援、日田オリジナルの始めて箱、創業者の応援、制度の拡充と事業承継の推進、7つ目は市の物品の市外、市内業者への以外への発注物を公表する仕組み、最後はK P I の深堀として満足度的な要素を数値化して議論をし、よりよくしていこうというところ。この8つを提言として委員長の名前で市長あてに報告、提言する予定。

**(委員)**

- ・質疑は、特になし

**(委員長)**

- ・ご意見がないようなので、市長提言は、地域ブランドの確立と創業の促進強化の2本柱にまとめる。
- ・ほかに出た意見は、一つでも、施策の中で反映するよう提言する。

**【議題3 中小企業振興計画（案）について】**

**(事務局)**

- ・日田市中小企業振興計画基本方針への事前質問に対して回答。

**(委員)**

- ・質疑は、特になし

**(事務局)**

- ・中小企業振興計画（案）について21ページから順に説明。
- ・物産展については目標値を20社から30社に変更。またアンテナショップの売り上げも、年間200万ずつ上げ、令和5年度に1億800万円の目標値と変更。
- ・商店街の空き店舗の関係は、商工会議所に再度調査をかけているため、実際の公表する

数値のときに変更している可能性がある。

- ・家具等の年間製造品出荷額等については52億と目標値を下方修正。木材木製品の年間出荷額は目標値を16,387百万円から16,537百万円に変更。建設工事の市内業者の発注件数割合は、94.5%から96.5%に変更。
- ・企業誘致件数は、4年で8件、年間2件へ、また、企業誘致の新規雇用者数は、IT企業などの誘致を戦略的に進めているため、4年で61人と目標数値を下方修正。商工会議所発行の貿易関係の発行件数は、15件から20件へ変更。
- ・農産加工の新商品年間開発数は削除せず、そのまま目標を継続する。

(委員)

- ・質疑は、特になし

(事務局)

- ・基本方針の4創業の促進について、二つ目の黒ポツの日田市創業支援等事業計画、正式名称にするため言葉の追加をした。次に4の2事業計画策定及び資金調達の支援も、シニアという言葉の追加をした。こちら目標値KPIの部分もポツシニアを追加した。
- ・ビジネスサポートセンター支援による創業者数を、市全体の創業支援計画に基づく年間創業者数の内数と説明書きした。目標値は、年間13件から年間14件へ変更。ビジネスサポートセンターは5年間で65件のところを年間10件と下方修正。

(委員)

- ・質疑は、特になし

(事務局)

- ・基本方針5人材の育成確保と事業環境の整備について、5の2の中小企業への就労促進で三つ目の黒ポツです。ね求職者の技術、技能士を取得活動支援また資格を取得による就業機会の促進は事業終了のため削除。
- ・5の3キャリア教育の促進は、キャリア教育の定義、説明文を若年者の職業感を醸成し地元企業への就職意欲を高めるため、中小企業や関係機関、小中学校や高等学校大学等の教育機関との連携のもと、発達段階に応じた職業感勤労感を育む学習プログラムを通じた長期的なキャリア教育を推進します。と変更。
- ・5の4就労しやすい環境の整備は、4つ目の障がい者の関係の部分で、障がい者が地域で自立した生活を営むため関係機関と共同で企業開拓や相談支援体制の強化を行い、障がい者雇用の促進を図ります。と修正。
- ・就労しやすい環境の整備で外国人材の受け入れ、共生については、県や関係機関と連携した取り組みを推進します。と言葉を追加。
- ・目標値は、ジョブカフェ日田サテライト登録者を5年間で480人を年間70人に下方修正。3つ目の求職者資格の関係は文言の削除と同様にKPIも、事業終了のため削除。ハローワーク日田管内の育児休業年間取得者数は、目標値を190人から200人に修正。

(委員)

- ・質疑は、特になし

#### 【議題4 その他について】

(事務局)

- ・今後のスケジュールについて説明。
- ・本日の案を持って庁内の政策調整会議（12月20日）に諮り、1月10日頃からパブリックコメントを開始。2月10日でパブリックコメントが終わると、コメントに対する回答修正がもしあれば、それを含めて、第6回で案の最終決定を行い議会への報告となる。

終了後、日田市中小企業振興施策に関する提言書の交付並びに市長との懇談会を行った。

以 上